

傷病鳥獣保護事業で保護されたホンダタヌキの人工哺育に関する報告とその考察

田原俊輔

(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園では、神奈川県からの委託事業として、人為的な要因で負傷や病気に罹った野生鳥獣を受け入れ、保護、治療し再び野生へと戻す「傷病鳥獣保護事業」を行っている。令和6年度は4月から5月までの間にホンダタヌキ6頭が保護された。いずれも幼獣であり人工哺育を必要とした。1カ月程度の哺乳記録を過去の自然哺育の報告と比較したところ、一部日齢体重ならびに体重増加量に差が見られた。